

公民館だより さくらぎ



平成17年 3月号

No. 204

桜木公民館

周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

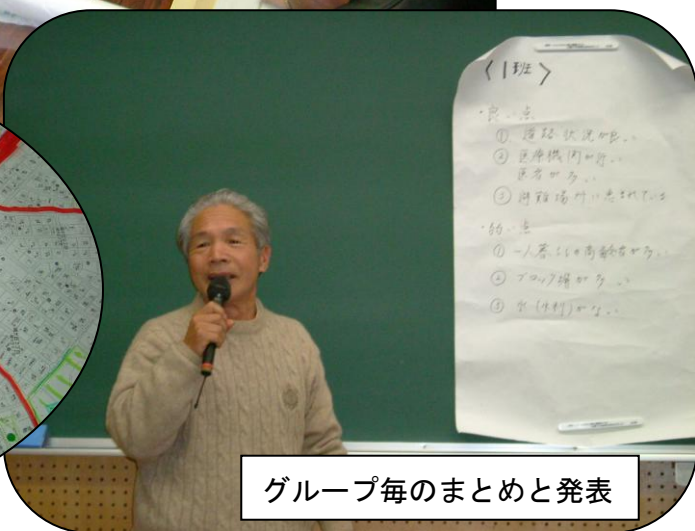
sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp

桜木地区自主防災組織

つよつよ第二章へ



総力を挙げて作成した
防災マップ



グループ毎のまとめと発表

山口県と周南市の共催による自主防災組織リーダー研修会が、1月30日(日)桜木公民館を会場に開催されました。

桜木地区の各種団体から41名の参加がありました。会場にはピーンと緊張感が張りつめ「我々の町は我々の手で守るのだ」という切実感がひしひしと伝わってきました。

自治会単位で編成されたグループで、演習を中心に研修が進められました。

- ・ 山や川・ため池・崖・平地等の地形の特徴
- ・ 公園・道路・広場・空き地等の町の構造
- ・ 医師・看護婦・団体役員等の人的防災資源

を自治会地図上に書き出す作業では、一段と熱気を帯びてきました。

これら一連の作業を通し地域に潜む問題も具体の姿で浮かび上がってきました。桜木地区の特徴を熟知した上で、桜木地区だけに適用される災害の防ぎ方第二章「実践編」へと論が進んでまいりました。



「豊かな
人間関係を・・・」

人権教育研修会実施

桜木公民館の講座生を対象とした人権教育研修会が、2月15日(火)公民館で開催されました。

この研修会には、多くの講座生に加え、人権教育推進委員の方々や地域の希望者の方々も加わり、70人もが集う盛大な研修会となりました。講師は前周陽中学校長の内山紘一先生でした。時間はわずか1時間程度でしたが、参加者の皆さんは、和やかな雰囲気の中で反応豊かに聴講されていました。

今さら人権教育でもないだろうと言われる人もありますが、気になることもある。・・・と。

社会が大きく変わって生活が豊かになってきたことで、豊かな人間関係を結ぶ機会が少なくなってきたせい

- 家庭の絆・子育て人権(受容の心)
- 加害者意識の少なさ
- 我が身つねって他人の痛さを知れ・・・
- 個人主義・「みんなと同じ」の考え方

等々・・・これらについては、身近な会話の中にも、人権意識を強く持つて臨むことが大切であろう。と・・・

「とっておきの
お話」

全国家庭教育フォーラムやまぐち大会
に参加して

講演「生きる力を育てる家庭と

地域のはたらき」

講師 筑波女子大学 門脇厚司学長

二十年以上も前から「社会力」が衰退している。社会力とは、人と人がつながり多様な良好な関係をつくりながら日常生活をスムーズに送れるようになる能力だが、今の日本人には、その能力が急速に衰えている。他者を自分の中に取り込む、自分以外の人のことを自分のことのように思うといった社会生活をする人間にとって最も大切な営みが抜け落ちており、それが社会力を衰弱させている。

大人が子どもと関わる絶対量を増やしていけば人への関心や愛着が育まれる。

まず家庭で父親母親が子どもに愛情を持ってきちんと関わってほしい。子どもの本当の友だちは大人である。

2月の活動記録簿

1/28 (金) 桜木小学校1年生(老連)
「むかしのあそびをしよう」
あそびの達人32名の皆さんが
遊びの極意を伝授されました。

竹とんぼあそび



竹馬あそび

1/28 (金) 周南市老連
「健康づくり事業」
ニュースポーツ講習会
(老連)
若々しい現役時代のプレー
が随所に見られました。

真打ち登場
『おひんくり人びんり』
(老連)



折り紙あそび



2/17 (木) 資源回収(老連)
多くのご家庭から回収しやすいよう
に梱包し軒先に出していただきました。
皆様方の善意は、金額の何倍にも膨れ
あがって伝わってきました。



馬屋公園での開会行事

2/11 (金)
建国記念の日奉祝行事
『とおの山ウォーク』
家族のハイキング、子ども
会のクイズなどで山頂がにぎ
わい、「とおの山会」や「地域
通貨」の皆さんによる豚汁・
綿菓子の販売でゴールがにぎ
わいました。



とおの山山頂



資源物回収へのご協力
ありがとうございます
ございました

回収量 19,757kg

桜木地区老人クラブ連合会

遊休品大募集

3月17日(木)まで 桜木公民館に

さくらぎ文化祭で遊休品バザー(20日9:30~)を行います。

ご家庭で眠っている不用品(できれば新品)がありましたらご提供ください。

売り上げは、地区の福祉事業などに有効に使わせていただきます。(桜木地区社会福祉協議会)

これからの予定

3月

- 6日(日) 第2回ウォークラリー(8:30)[体振]
- 10日(木) 周陽中学校卒業式(10:00)
- 10日(木) 文化祭コミ文化部会(19:00)
- 11日(金) 向道湖福祉農園作業(9:00)[老連]
- 18日(金) 桜木小学校卒業式(9:30)
- 18日(金) さくらぎ文化祭準備(10:00)
- 19日(土) **第22回** (9:30~15:00)
- 20日(日) **さくらぎ文化祭** (9:30~14:00)
- 23日(水) コミ連絡調整会議(19:00)
- 29日(火) 公民館運営協議会(14:00)

《俳句コーナー》

・農具市 新製品を 熱くみる

・山揺れて うず巻く帯の 杉の花

・運勢は 恋実るとや シヨコラの日

・梅の香を 胸に吸い込む 子の笑顔

・畔の道 あせ 緑のボール 落のたう

(一洋)

【編集後記】

夏休みや冬休みの長い休みに入ると子どもたちの行事も増え、公民館を利用する回数も多くなります。

子どもたちは、落書きの天才で、休憩時間などには、空いている部屋に入って黒板に思う存分落書きを楽しんでいるようです。

しかし、まだ落書きの消し忘れには一度も出会ったことはありません。恐らくお母さん方が最後の見届をし、汚した黒板の掃除をして帰られるからでしょう。お母さん方のご苦労が感じとれます。

わたしの勉強部屋

子どもは汚す人、お母さんは掃除する人
でいいのでしょうか。

落書きした後の汚れに気づき、自分の手できれいに掃除する。(犯したエラーに気づき自分の手でエラーを改める。)これが学習のほうです。子どもがエラーし、改めるのは母親。これでは子どもの学習にはなりません。子どもが学習すべき一番美味しい部分を母親が横取りしていませんか。とは言っても学習する力のない子どもに100%の学習を強いることもできないでしょう。

さじ加減が大切です。